

展示期間 | 2024年6月7日[金]～7月29日[月]

※会期中無休

投票期間 | 2024年6月7日[金]～7月11日[木]

※大賞作家にご投票いただいた方には、パラミタミュージアムより記念品をさしあげます

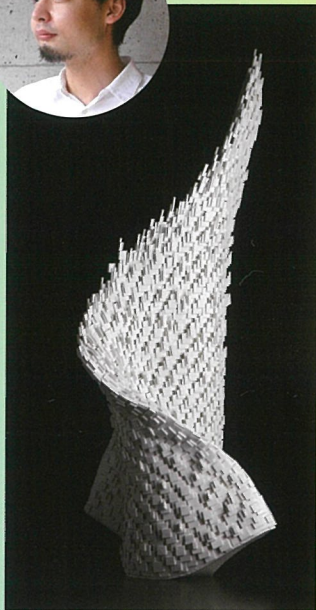
第18回 Ceramic Art Grand Prize Exhibition

パ ラ ミ タ 陶 芸 大 賞 展

馬場康貴

Baba Yasutaka

〈長崎県〉



撮影：ア・ライトハウス・カナタ

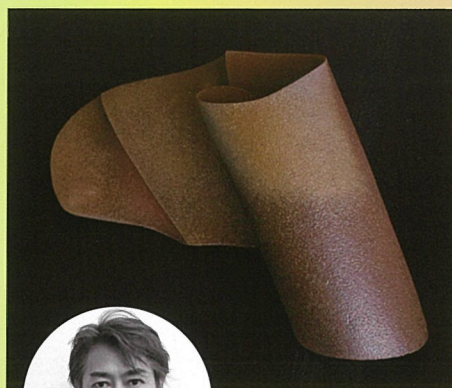


撮影：木村雄司



氏家昂大

Ujite Kodai
〈岐阜県〉



矢部俊一

Yabe Shunichi

〈岡山県〉

岡田 泰

Okada Yasushi

〈山口県〉



撮影：マキタオモリツグ



撮影：マキタオモリツグ

加藤真美

Kato Mami

〈愛知県〉



パラミタ陶芸大賞発表式 | 2024年7月21日[日]

◎パラミタ陶芸大賞/1名 賞金100万円

恒例となったパラミタ陶芸大賞展も、本年18回目を迎え、来館者による投票という大賞選考方法もすっかり定着しました。今回も、全国の美術館、博物館、画廊、美術評論家の方々から、「時代を代表する陶芸家」を推薦いただき、上位6名の作家をノミネートして、パラミタミュージアムの会場で作品を展示します。

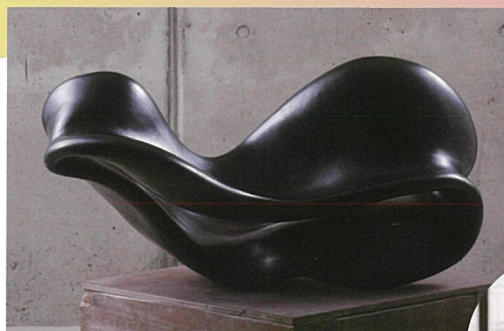
賞の選考は6月7日から35日間の展示期間中に来館者に投票していただき、その結果により大賞を決定します。

多数の皆様のご投票をお待ちしております。

●開館時間 | 9:30～17:30 (入館は17:00まで) ●会場 | パラミタミュージアム2階 第4室

●入館料 | 一般1,000円(4枚セット券3,000円) / 大学生800円 / 高校生500円 / 中学生以下無料

■主催 | 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム ■後援 | 中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、三重テレビ放送



伊村俊見
Imura Toshimi
〈岐阜県〉



撮影：斎城卓

撮影：伊村拓見

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

■お車をご利用の場合 / 〇東名阪「四日市」より湯の山温泉方面へ約6.5km 〇新名神「菟野IC」より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車場)

■電車をご利用の場合 / 近鉄「四日市駅」より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

<https://www.paramitamuseum.com> E-mail=office@paramitamuseum.com Facebook(@paramitamuseum) X(@paramita_muse) Instagram(@paramitamuseum)

※掲載画像は陶芸大賞展の出品作品とは異なる場合があります



第18回 Ceramic Art Grand Prize Exhibition パラミタ陶芸大賞展

伊村俊見 / Imura Toshimi

- 1961年 大阪市に生まれる
1984年 金沢美術工芸大学彫刻科卒業
1985年 岐阜県立多治見工業高等学校窯業専攻科修了
1994年 第1回信楽陶芸展 大賞(信楽産業展示館/滋賀)
1995年 第4回国際陶磁器展美濃95 陶芸部門 グランプリ
1996年 「現代陶芸の若き旗手たち」(愛知県陶磁資料館)
1999年 「陶芸の現在—土の形態学」(日本橋高島屋/東京、他)
2004年 「非情のオブジェ:現代工芸の11人」(東京国立近代美術館工芸館)
2006年 第4回国際現代陶芸セッションに参加、プエノスアイレス建築デザイン美術館(MARQ)とアルゼンチン国立ミシオネス大学にてプレゼンテーションおよびワークショップを行う
2010年 多治見駅前モニュメント制作
2015年 「光庭 HIKARINIWA2015 伊村俊見・原山健一展」(多治見市美濃焼ミュージアム/岐阜)
2019年 「褒 伊村俊見の陶」(瑞浪市市之瀬廣太記念美術館/岐阜)
2020年 とうしん美濃陶芸作品永年保存事業 令和元年度選定
2022年 個展(ギャラリーなうふ現代/岐阜)(同'04 '07 '10 '13 '16 '19)、個展(スペース大原/岐阜)(同'06 '07 '12 '15 '18)
現在 岐阜県瑞浪市在住



撮影: 伊村拓見

岡田 泰 / Okada Yasushi

- 1976年 萩市(山口県)に生まれる
2002年 東京造形大学美術学部彫刻科卒業
2005年 京都市工業試験場陶磁器専修科修了
2013年 菊池ビエンナーレ 奨励賞
「日本伝統工芸展60回記念 工芸からKOGEIへ」(東京国立近代美術館工芸館)
2015年 日本陶芸展 優秀作品賞・毎日新聞社賞
2017年 エネルギア美術賞
山口県芸術文化振興奨励賞
2019年 現在形の陶芸 萩大賞展V 優秀賞
2021年 「萩の新潮 萩・岡田薫 岡田泰展」(緑ヶ丘美術館/奈良)
2022年 「未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ」展出品(パナソニック汐留美術館/東京、他巡回)
2023年 日本伝統工芸展 入選(同'09~'22)
伝統文化ボーラ賞 奨励賞
2024年 陶美展 入選(同'13~'21)
現在 山口県萩市在住



撮影: マキオモリツグ

馬場康貴 / Baba Yasutaka

- 1991年 波佐見町(長崎県)に生まれる
2016年 多治見市陶磁器意匠研究所修了
2017年 多治見市陶磁器意匠研究所セラミックスラボコース修了
現在 長崎県波佐見町在住



氏家昂大 / Ujie Kodai

- 1990年 仙台市(宮城県)に生まれる
2015年 東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻工芸研究領域修了
2021年 個展(ぎやらりい栗本/新潟)
2022年 個展(The Stratford Gallery/イギリス)
個展(画廊 文錦堂/岐阜)
Design Miami (アメリカ)
Warehouse Art Museum (アメリカ)に作品が収蔵される
個展(銀座一徳堂/東京)(同'19)
2023年 個展(ギャラリー桃青/京都)
個展(Ippodo Gallery New York/アメリカ)
個展(日本橋高島屋/東京)(同'21)
2024年 個展(B-OWND Gallery/東京)
現在 岐阜県多治見市在住



加藤真美 / Kato Mami

- 1963年 東海市(愛知県)に生まれる
1986年 常滑市立陶芸研究所(現とこなめ陶の森陶芸研究所)修了
1987年 第16回長三賞陶芸展 前衛部門新人賞
2013年 第31回長三賞陶芸展 自由部門審査員特別賞(鯉江良二選)
2014年 第21回美濃陶芸庄六賞茶盤展 庄六賞
2015年 CERAMICA MULTIPLEX 2016 銀賞(クロアチア)
現在形の陶芸 萩大賞展IV 佳作
2016年 個展「月下-Moon Light-」(新北市鶯歌陶瓷博物館/台湾)
個展「月明かり」(東海市立芸術劇場/愛知)
2017年 Earth Pot インスタレーション (Museo Etnográfico de Castilla y León/スペイン)
2018年 「POTs - The Vessels」(National Museum Bangkok/タイ)
第44回美濃陶芸展 大賞
2020年 The VIII International Marratxi Ceramic Biennial 招待出品(スペイン)
2023年 第46回美濃陶芸展 60周年記念賞
現在 愛知県東海市在住



矢部俊一 / Yabe Shunichi

- 1968年 備前市(岡山県)に生まれる
1992年 名古屋芸術大学彫刻科卒業
1993年 帰郷し、祖父 山本陶秀(人間国宝)、父 矢部篤郎の指導を受ける
2013年 グループ展(Marianne Heller Gallery/ドイツ)
2014年 AIFAF (アメリカ)、Collect (イギリス)(同'13)
2015年 彫刻展「88」(FEI ART MUSEUM YOKOHAMA/神奈川)
2016年 「備前×矢部俊一×信楽」(滋賀県立陶芸の森)
2017年 「焼締—土の変容」(アメリカ、他海外巡回)
2018年 Ceramic Art Bizen in Shizutani (旧閑谷学校国宝講堂/岡山)、TEFAF (オランダ)(同'14)
2019年 「The 備前一土と炎から生まれる造形美—」(東京国立近代美術館、他巡回)
2022年 「矢部俊一展—空刻」(兵庫陶芸美術館)
2023年 個展「矢部俊一展 空刻 COMPLEX」(日本橋高島屋/東京)
現在 岡山県備前市在住



同時開催

金魚美抄2024 —KINGYO BISHOW—

金魚を描くアーティストたち

「金魚美抄」とは、金魚の美をすくい取るという意味の深堀隆介氏(1973~)による造語です。その名の本展は、金魚の美に魅了され、金魚をモチーフにアート作品を手がけるアーティストが一堂に集う展覧会です。それぞれの技法、表現などを駆使して様々な作品を生み出し、金魚の「美」を魅せます。

出品作家: 監修・深堀隆介(美術家)

岩本夏樹(水彩・アクリル画、粘土造形)/上田風子(水彩画)/京楽堂(消しゴム判子)
小林美幸(ミニチュア)/但野英芳(ガラス工芸)/西村はる(アクリル画)/藤本純子(油画)
堀としかず(日本画)/雅人-masato-(切り絵)/矢萩ひかる(羊毛フェルト)

次回展覧会予告

チェコ秘蔵・チマルコレクション

ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者

2024年8月3日(土)~9月29日(日)

アル・ヌーヴォーの代表的な画家として知られるアルフォンス・ミュシャ(1860~1939)。サラ・ベルナルルの演劇ポスター「ジスモンダ」をはじめとするポスター作品で知られていますが、実際に彼が手掛けたジャンルは多岐にわたりました。

本展では、チェコ在住の個人コレクター、ズデニェク・チマル博士のコレクションから、書籍の挿絵、ポストカード、お菓子や香水のパッケージ、宝飾品などを中心に、油彩画、水彩画、素描、写真まで、数々の作品を一堂に会し、世紀末、ベル・エポックを象徴するミュシャ芸術の全貌を紹介します。